

平成29年 8月 8日

相生市議会議員

犬川孝文様

会派名 公明党  
代表者名 渡邊慎治

出張報告書

政務活動費により視察、研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

氏名	渡邊 慎治	
日程	平成29年 8月 1日 から 8月 3日 まで 3日間	
月日	視察、研修、要請・陳情活動、会議先	視察、研修、要請・陳情活動、会議項目
8・1	北海道江別市 視察	○地方創生について ○観光案内所GETについて
8・2	北海道三笠市	○議会改革について
8・3	帰路	

旅費 ( / 名分)	負担金 ( 名分)	合計 ( / 名分)
92,330 円		92,330 円



## 視察の成果

### 北海道江別市視察

#### ○地方創生について

当市は、以前より春ゆたかという小麦を中心とした、農・商・工連携による江別麺を代表とした加工食品が数多く生産され、それに関連するラーメン、パスタ等のレストランも数多く誕生している。

近年、平成17年をピークに市の人口が減少し始め、平成28年度には、ピーク時の5%の人口減少となっている。

これを受け、当市の人口減少対策として、江別市 まち・ひと・しごと創生総合戦略が立案され、基本目標を①しごとをつくり、安心して働けるようにする。②えべつ江別への新しい人の流れをつくる。③若い世代の結婚・出産・子育てを支援する。④時代に合った地域づくり、安心な暮らしと健康を守るとともに、地域と地域を連携する。と定め、取り組みが推進されている。

その中で、第一に人口構成率の最も高く、今後も増え続けるであろう高齢者の働き口の確保がとても重要課題となっており、様々な検討がなされている。

第2に市内には、4つの大学があり、1万人近くの学生が通ってきていますが、市内の企業に就職を希望する学生が少なく、ほとんどの学生が市街を希望し、出て行ってしまふ。これを何とか食い止め、市内に就職していただけるようにするため、現在「有給インターンシップ等地域就職支援事業」を展開している。

特に、興味を持ったのは、2番目の「有給インターンシップ等地域就職支援事業」で、この事業は、札幌学院大学、北翔大学、北海道情報大学、酪農学園大学の市内4大学の学生に対するキャリア形成と市内企業における労働力確保及び将来の人材育成を目指し、①市は、キャリアバンク株式会社を受託事業者として契約を交わし、学生募集、受け入れ企業開拓、就業前研修の実施、インターンシップ期間中のコーディネート等の業務を委託する。②有給インターンシップに参加する学生は、受託事業者の人材派遣登録を行う。③有給インターンシップの受け入れ企業は、受託事業者と人材派遣契約を締結しね就業時間に応じた派遣料を受託事業者を支払う。④当制度での就業にあたっては、労働基準法その他の労働関係法案を遵守し、学生には、就業時間に応じた労災保険等が適用される。⑤同一職種・同一企業でのインターンシップは原則6か月間までとし、複数の職種を経験することにより幅広い職業観の醸成を図るとともに、様々な市内企業を知る機会を設ける。等のスキームを設け実施している。

前年度の成果としては、49名のキャリアバンク登録者に対し、45名の市

内企業就職を実現している。登録者の数は、一万人の学生に比べ、ほんの少しではあるが、登録者の就職率は、非常に高い。

また、他に相生市と同じように、保育料軽減等の子育て支援策も実施した経緯もあるが、基本的な考えとして、ニンジンで釣るのではなく、江別市が、市内の企業が好きで、来てくれる人に照準を合わせた施策を展開している点に、大変感心致しました。ここまでは、社会増に向けた取り組みですが、自然増に向けた取り組みは、国がやるべきことと割り切っている。

今回の視察は、様々な点で相生市とその意を違えており、大変参考になりました。以上

## 北海道三笠市視察

### ○議会改革について

三笠市は、栗山町議会から数えて全国で4番目となる平成21年4月に議会基本条例を策定した市である。過去9回に及ぶ議会報告会の開催及び7回に及ぶ市内の各団体を対象とした意見交換会を通して、様々な質問及び意見交換を行い、市民の要望、市民のニーズに応えるべく、努力を重ねてきています。

この度は、先進市である三笠市の9名中8名のご出席をいただいた議員の皆様に、様々な質問及び意見交換をさせていただきました。

まず、三笠市の議長さんの説明によると、最も苦勞した点は、ご多分に漏れず議会報告会への一般出席者の数が、だんだんと減ってきたことであった。

そこで、①第一回の議会報告会開催時にもっとも留意したこと。②計9回の議会報告会経て、もっとも留意すべき点。の2点を質問させていただいた。

① は、いかに多くの市民の方々に告知するかに尽力し、次に報告会の進め方に時間を割いたとのご返事を得た。

② は、報告会の回を重ねるうちに、市民の皆様の関心のある議題・案件には、そこそこ人が集まってくることを確認し、市民の関心事を知るために

議会報告会の他に、市内各団体との意見交換会を活発に行ってきたとのご返事を得た。

そのことを考えると、議会報告会は、報告会ではあるが、まるっきり一方通行では、一般出席者の数が減少する一方となり、かといって意見交換を行うと収拾がつかなくなる。そこで、前もって各団体との意見交換により、市民の関心事を掌握し、その議題を取り上げることが、まずは良策との感を強くした。

市政は、2元代表制であり市議会は、一方の市長に比べ、議案等の提案にかなりの制限を付加されており、100%市民の声にこたえることは、難しい。そんな中で粘り強く議会報告会を実施し、議会の役割をよく理解をしてもらとともに市民のニーズを的確に掌握し、適切なる議決権を行使することこそ、我々市議会の大いなる使命であると、決意を新たにいたしました。